



学校だより



12月号

平成29年11月30日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

これからの10年に向けて ～年の暮れにあたり～

校長 井出 了一



朝晩すっかり冷え込み、校庭の木の葉も北風に吹かれて足早に散っていきます。乾燥した寒気で空が澄み、遠く秩父の山並みや富士山までくっきり見えるようになりました。引き締まった大気に冬の到来を感じます。早いもので、カレンダーも最後の一枚となりました。一年間、子どもたちの安全や充実した学校生活に向けて、多くの方々へ支えられてきたことに、心より感謝申し上げます。

今年から来年にかけて、教育界は大きな転機を迎えます。今年告示された新学習指導要領ですが、来年度から移行措置が始まり、2020年(東京オリンピックの年)全面実施に向けて動き出します。

先月(H29-11月)行われた、文部科学省の中央教育審議会・初等中等教育分科会で配布された「第3期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について」という資料が公開されました。これによると、新学習指導要領から10年間を見据えた教育政策に関する基本方針として、

1. 夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する

課題を抱えた人を含む全ての人に対して、確かな学力、豊かな心、健やかな体など、よりよい人生を送るとともに、社会に主体的に関わるための基礎・基本を学校・地域が連携・協働して保障し、自信を持って自らの可能性に挑戦していくことができるようにする。

2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する

基礎・基本を前提に、優れた才能の伸長を含め、それぞれの得意な分野での個性や能力を最大限に伸ばしていく。

3. 生涯学び、活躍できる環境を整える

働きながら学び直すことや、障害者の自己実現を目指す生涯学習の推進、人生100年を見据えた「二つ目の人生を生きる力」の養成など、全ての人々が継続して学習できる環境を整える。

4. 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する

家庭の経済状況や地理的条件等にかかわらず、全ての人々が教育を受けられるようにする。

5. 教育政策推進のための基盤を整備する

教育政策を推進するため、良好で質の高い教育基盤を整備する。

これからの教育の目指すべき姿として「自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造する人材の育成」と述べられています。

私は、主体的にチャレンジを続ける「自己の教育力」と、グローバルな多様性を受け入れる「他者への理解」この2つを学び続ける資質・能力を身に付けるのが初等教育の使命だと考えます。

Q:「資質・能力」といっても、具体的にどんなことなのでしょう？

新指導要領案では以下の表現で記載されています。(新学習指導要領案/p4 総則より引用)
児童の発達の段階や特性等を踏まえつつ、次に掲げることが偏りなく実現できるようにする。

1. 「知識及び技能が習得されるようにすること。」
2. 「思考力、判断力、表現力等を育成すること。」
3. 「学びに向かう力、人間性等を涵養すること。」

その場の点数だけで一喜一憂せず「広い目・長い目」で子どもを見守りましょう。



※ 14日(火)、ふたご座流星群の極大日です。寒い時期ですが、空の暗いところでは1時間に30～50個くらいの流れ星が見られます。詳しくはwebで【例:アストロガイド > 星空ガイド > ふたご座流星群】